

MIRSの機能試験と 今後のスケジュール

標準機組み立て

- 標準部品試験が終了したら、MIRS標準機を組み上げる。
 - タッチセンサ、超音波センサの試験は組立後でもよい。
- [MIRS14CP-REPT-0002標準機組立手順書](#)
にそって、組み立てる。
- ただし、FPGAボード、ドータボード、モータ制御ボードの接続は、
[新モータボード動作確認手順書](#)
の 3.ケーブル接続の写真を参考に行うこと。

標準機機能試験

- 試験内容
 - 超音波計測
 - タッチセンサ
 - 画像認識
 - 走行(直進、回転)
- MIRSMG3D-FTST-XXXX 機能試験プログラムのドキュメントに沿って試験を行う。
 - 走行試験を除く。走行試験手順については、6/25までに改定する。
- 標準機機能試験報告書 6/27
 - 標準プログラムパッケージの提供

標準機機能試験

- 組み上げ後に行う試験（機能試験）
 - タッチセンサ入力
 - 超音波センサ
 - 画像処理
 - /home/mirs/src/mg3_std_program/test
 - irs_ts_ws_test, uss_test, number_test
 - 走行試験 直進、回転

デモ競技会

- 8/9の一日体験入学で、各チームの標準機によるデモ競技会を実施する。
- 競技は「巡回警備」とする。
 - 詳細は競技会プロジェクトチームで検討する。
 - 7/11に詳細を発表

今後のスケジュール --- デモ競技会に向けて ---

- 6/27 標準機デモ用システム開発計画書
 - ハードウェアの変更は超音波センサの追加、バンパの改良など最小限に留める。(新しいデバイスは追加しない)
 - ソフトウェアの開発が中心になる。
- 7/11 標準機デモ用システム開発計画書レビュー
- 7/18 システム開発
- 7/25 システム開発

- 8/9 一日体験入学
- 9/19 標準機デモ用システム開発報告書

競技会プロジェクトチーム

- 走行試験以外の機能試験を 6/20 に実施
 - 標準パッケージ作成のためのプラットフォーム
- 6/27 デモ競技会詳細の検討（7/11 発表）
- 7/18,25 デモ競技会準備
標準デモプログラムの開発
- 8/9 デモ競技会運営（競技会にも参加）
- 開発チーム兼任メンバーは、10月から、開発チームに合流する。

標準プログラムパッケージの更新

- `sudo su`
- `cd /home/mirs/src`
- `mv mg3_std_program mg3_std_program_old`
- `wget http://www2.denshi.numazu-
ct.ac.jp:/mirsdoc2/mirs14sf/data/num0002a/
mg3_std_program.tar.gz`
- `tar xvfz mg3_std_program.tar.gz`

デバイスドライバの更新

- `sudo su`
- `cd /home/mirs/src`
- `mv stdio stdio.old`
- `wget http://www2.denshi.numazu-
ct.ac.jp:/mirsdoc2/mirs14sf/data/num0002a/
stdio.tar.gz`
- `tar xvfz stdio.tar.gz`

無線LANの利用法

- 無線LANのデバイス名の確認

`ifconfig -a`

– wlan の番号を確認する。(CPUボードによって異なる)

- `/etc/network/interfaces` を編集する。

`auto wlan?`

`iface wlan? inet dhcp`

(? の部分に番号を入れる)

- ネットワークの再設定

`/etc/init.d/networking restart`

起動スクリプトの変更

- /etc/rc.local に起動時の追加的な実行コマンドを記述
- MG3S用に変更する。
- 変更手順

```
sudo su
```

```
cd /etc/
```

```
mv rc.local rc.local.bak
```

```
wget http://www2.denshi.numazu-ct.ac.jp/mirsdoc2/mirs14sf/data/num0002a/rc.local
```

```
chmod 755 rc.local
```

OSの操作法

- 管理者権限への移行
 - sudo su
- コンソールの切り替え
 - Altキー + F1 ~ F6キー
- 日本語端末への移行
 - jfbterm
- X windows の起動
 - startx